

# 事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	保健課(健康推進担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	診療所整備事業(診療所医療機器整備事業)	事業番号	11096(11098)

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-2	地域医療の充実
	施策目標	地域医療が充実し良質な医療を受けることができるまち	

## 2 事務事業の目的

目的	市立である診療所(歯舞)及び歯科診療所(厚床・歯舞)の医療機器や施設を整備し、市民が安心して治療を受けられる体制を図る。
成果	各診療所ともに遠隔地にあるが、安心して医療を受けられる状態にする。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
		27	医療機器の更新 厚床歯科診療所 歯科診療ユニット3台、AED1台、歯舞歯科診療所 レントゲンコンピューレーアクセスセンサー1台					
	28	医療機器の更新 歯舞歯科診療所 歯科診療ユニット 1台、歯舞診療所 超音波診断装置 1台 ほか						
	29	医療機器更新 ビデオ内視鏡システム 1台、歯科診療機器 1台						
	30	医療機器更新 心電計 1台、歯科診療機器 1台						
	31	医療機器更新 医療機器 1台、歯科診療機器 1台						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		14,796	7,443	18,646	4,122	4,900	49,907
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債	13,800	6,500	18,300			38,600
		その他						
		一般財源	996	943	346	4,122	4,900	11,307
	人員(人工)		0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	
職員費(人員×8,081千円)		646	646	646	646	646	3,230	
総事業費		15,442	8,089	19,292	4,768	5,546	53,137	
維持管理	管理主体		根室市					
	運営方法		民営					
	維持管理費	施設維持費	3,745	1,593	1,593	1,593	1,593	10,117
		概算人件費						
合計/年		3,745	1,593	1,593	1,593	1,593	10,117	

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	更新する医療機器台数	5台	3台	3台

事務事業改善策  
(継続事業のみ記入)

医療機器の老朽化が進んでいることから、計画的な医療機器の更新を図り、市民が安心して医療を受けられる環境づくりを図る。

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	市民が安心して医療を受けられる診療体制の構築。
-------------------	-------------------------

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 市民が安心して医療を受けられる診療体制を図れる。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市の管理施設であることから、市民が安心して医療を受けられる体制づくりが必要。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 医療機器の老朽化は、人命にかかわることから計画的な更新が必要。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 医療機器の更新については、各診療所の機器の状況をヒアリングし、緊急性が高い医療機器から順次更新している。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 医療機器の更新については、各診療所の機器の状況をヒアリングし、緊急性が高い医療機器から順次更新している。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 医療機器の老朽化は、人命にかかわることから計画的な更新が必要。

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<b>【計画どおり実施】</b> 引き続き良質な医療環境の提供に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 医療機器の老朽化は、人命にかかわることから安心して市民が医療を受けられる環境づくりに引き続き心掛け、計画的な医療機器の更新を図る。

作成年度 平成27年度

# 事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	保健課(健康推進担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	保健指導及び医師対策経費	事業番号	86

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-2	地域医療の充実
	施策目標	地域医療が充実し良質な医療を受けることができるまち	

## 2 事務事業の目的

目的	市内で医師として勤務又は開業しようとする医学生・研修生及び市内医療機関において医療技術者として従事しようとするもの及び介護従事者に対し、修学資金を貸し付け、将来にわたる医療従事者及び介護従事者を確保し、医療体制の充実を図る。
成果	市内で医師として勤務又は開業しようとする医学生・研修生及び市内医療機関において医療技術者として従事しようとするもの及び介護従事者に対し、修学資金を貸し付け、将来にわたる医療従事者を確保し、安定的な地域医療体制をつくる。また、年々貸付者も増加し、毎年度卒業者の7～8割が市内医療機関へ勤務している。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	医師、研修医 月額30万円以内 医療従事者 看護師、薬剤師 月額10万円以内 保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等 月額6万円以内の貸付を行う。 ※償還猶予及び免除規定あり						
28	医師、研修医 月額30万円以内 医療従事者 看護師、薬剤師 月額10万円以内 保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等 月額6万円以内の貸付を行う。 ※償還猶予及び免除規定あり							
29	医師、研修医 月額30万円以内 医療従事者 看護師、薬剤師 月額10万円以内 保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等 月額6万円以内の貸付を行う。 ※償還猶予及び免除規定あり							
30	医師、研修医 月額30万円以内 医療従事者 看護師、薬剤師 月額10万円以内 保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等 月額6万円以内の貸付を行う。 ※償還猶予及び免除規定あり							
31	医師、研修医 月額30万円以内 医療従事者 看護師、薬剤師 月額10万円以内 保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等 月額6万円以内の貸付を行う。 ※償還猶予及び免除規定あり							
事業費と内訳	(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費	
	事業費	46,520	69,846	69,846	69,846	69,846	325,904	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	5,860	46,054	46,054	46,054	46,054	190,076
	一般財源	40,660	23,792	23,792	23,792	23,792	135,828	
	人員(人工)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25		
職員費(人員×8,081千円)	2,020	2,020	2,020	2,020	2,020	10,100		
総事業費	48,540	71,866	71,866	71,866	71,866	336,004		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	修学資金貸付件数		36件	40件

事務事業改善策  
(継続事業のみ記入)

地域医療に携わる人材の育成を図ることにより、将来にわたり安心して医療を受けられる環境の整備を図る。

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	地域医療に携わる人材の育成を図ることにより、将来にわたり安心して医療を受けられる環境の整備を図ることができる。
-------------------	---

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 資格取得後、市内医療機関等で貸付期間以上勤務することにより、貸付金償還の免除規定等があることから、保護者の経済的な負担軽減を図り、意欲ある学生の資格取得を図れる。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 医師不足、医療従事者の人材を確保することができる。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 医師不足、医療従事者の人材を確保することができる。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 根室市医師、医療従事者及び介護従事者修学資金貸付金条例及び規則による
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 根室市医師、医療従事者及び介護従事者修学資金貸付金条例及び規則による
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 医師不足、医療従事者の人材を安定的に確保することができる。

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 制度周知に努め、着実に事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 引き続き制度内容について、HP、広報、高校訪問等を通し、市民周知を図るとともに、根室市外三郡医師会主催による「青少年医療体験」などで保護者等への市民周知を図り、早期での医療従事者資格取得意欲を図り、有効的な運用を図る。

作成年度

平成27年度

# 事務事業評価(事前評価)シート

<b>主管課(担当名)</b>	保健課(健康推進担当)	<b>事業区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
<b>事務事業名</b>	小児救急医療支援事業	<b>事業番号</b>	12300

## 1 施策体系

<b>施策体系との関連</b>	<b>施策区分</b>	1-2	地域医療の充実
	<b>施策目標</b>	地域医療が充実し良質な医療を受けることができるまち	

## 2 事務事業の目的

<b>目的</b>	休日及び夜間における小児救急患者の受け入れのための医療体制を充実し、子どもを持つ保護者の不安を軽減するとともに、子どもの健康の保持・増進を図る。
<b>成果</b>	休日及び夜間における小児救急患者の受け入れのための医療体制を充実し、子どもを持つ保護者の不安を軽減するとともに、子どもの健康の保持・増進を図る。
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
<b>事務区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	休日及び夜間に入院治療を必要とする小児の重症救急患者に対応するため、市立根室病院と町立中標津病院の小児科医師がオンコール体制で待機することで、地域医療の確保と急患・救急医療体制の充実を図る。						
	28	休日及び夜間に入院治療を必要とする小児の重症救急患者に対応するため、市立根室病院と町立中標津病院の小児科医師がオンコール体制で待機することで、地域医療の確保と急患・救急医療体制の充実を図る。						
	29	休日及び夜間に入院治療を必要とする小児の重症救急患者に対応するため、市立根室病院と町立中標津病院の小児科医師がオンコール体制で待機することで、地域医療の確保と急患・救急医療体制の充実を図る。						
	30	休日及び夜間に入院治療を必要とする小児の重症救急患者に対応するため、市立根室病院と町立中標津病院の小児科医師がオンコール体制で待機することで、地域医療の確保と急患・救急医療体制の充実を図る。						
	31	休日及び夜間に入院治療を必要とする小児の重症救急患者に対応するため、市立根室病院と町立中標津病院の小児科医師がオンコール体制で待機することで、地域医療の確保と急患・救急医療体制の充実を図る。						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		3,271	3,284	3,284	3,284	3,284	16,407
	内訳	国庫支出金						
		道支出金	2,180	2,189	2,189	2,189	2,189	10,936
		地方債						
		その他	1,091	1,095	1,095	1,095	1,095	5,471
	一般財源							
	人員(人工)							
職員費(人員×8,081千円)								
総事業費		3,271	3,284	3,284	3,284	3,284	16,407	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	市立根室病院におけるオンコール日数(夜間・休日)	248日	250日	250日

事務事業改善策  
(継続事業のみ記入)

北海道小児救急医療対策事業費補助金(小児救急医療支援事業)交付要綱による。

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	休日及び夜間における小児救急患者の受け入れのための医療体制を充実し、子どもを持つ保護者の不安を軽減するとともに、子どもの健康の保持・増進を図る。
-------------------	--

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない</p> <p>休日及び夜間における小児救急患者の受け入れのための医療体制を充実し、子どもを持つ保護者の不安を軽減することができる。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である</p> <p>休日及び夜間における小児救急患者の受け入れのための医療体制を充実し、子どもを持つ保護者の不安を軽減するとともに、子どもの健康の保持・増進を図る。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない</p> <p>休日及び夜間における小児救急患者の受け入れのための医療体制を充実し、子どもを持つ保護者の不安を軽減するとともに、子どもの健康の保持・増進を図る。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある</p> <p>北海道小児救急医療対策事業費補助金(小児救急医療支援事業)交付要綱による。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある</p> <p>北海道小児救急医療対策事業費補助金(小児救急医療支援事業)交付要綱による。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない</p> <p>根室圏の休日又は夜間に係る小児救急医療において、事業に参加している病院(市立根室病院・町立中標津病院)の小児科医師における院内待機またはオンコール体制を整備することにより、初期救急医療施設からの転院搬送や入院治療を必要とする小児の重症救急患者に対する医療を確保している。</p>

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【速やかに実施】</p> <p>速やか、かつ円滑に事業推進するとともに、体制の拡充などについて検討されたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する</p> <p>休日及び夜間における小児救急患者の受け入れのための医療体制を充実し、子どもを持つ保護者の不安を軽減するとともに、子どもの健康の保持・増進を図る。</p>

作成年度 平成27年度

# 事務事業評価(事前評価)シート

<b>主管課(担当名)</b>	市立根室病院管理課(経理担当)	<b>事業区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
<b>事務事業名</b>	資産購入整備事業	<b>事業番号</b>	-

## 1 施策体系

<b>施策体系との関連</b>	<b>施策区分</b>	1-2	地域医療の充実
	<b>施策目標</b>	地域医療が充実し良質な医療を受けることができるまち	

## 2 事務事業の目的

<b>目的</b>	市民が市立根室病院で良質な医療を受けることができるようにするため。
<b>成果</b>	医療機器を導入することにより、良質な医療サービスを提供する。
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
<b>事務区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	医療機器の購入(多用途透析用監視装置、高周波手術装置等)						
	28	医療機器の購入(多用途透析用監視装置、内視鏡システム等)						
	29	医療機器の購入(多用途透析用監視装置、自動採血管準備システム等)						
	30	医療機器の購入(多用途透析用監視装置、生体情報モニター等)						
	31	医療機器の購入(眼軸長測定装置、浸透圧測定装置等)						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		128,517	145,811	138,142	66,702	66,702	545,874
	内訳	国庫支出金						
		道支出金	957					957
		地方債	25,800	11,600	30,000	30,000	30,000	127,400
		その他	50,880	76,281	54,071	18,351	18,351	217,934
		一般財源	50,880	57,930	54,071	18,351	18,351	199,583
	人員(人工)							
	職員費(人員×8,081千円)							
総事業費		128,517	145,811	138,142	66,702	66,702	545,874	
維持管理	管理主体		市立根室病院					
	運営方法		直営					
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	医療機器購入品目	8品目	10品目	30品目
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	市民は市立根室病院において検査や治療を行う際、良質な医療サービスを受けることができる。
-------------------	---

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 先般の市民アンケートでも医療機器の整備を求める声があるため。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市立根室病院は市内唯一の公的病院であり、第二次医療機関として地域医療を担っているため。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 新病院開院時に多くの医療機器を導入したが、更新が必要な機器等があるため。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 指名競争入札を行っているため。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 市立根室病院は地域における中核病院としての役割を担っており、多くの市民が利用している。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 機器を導入することでより良い医療サービスを提供することができるため。

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<b>【計画どおり実施】</b> 地域センター病院として、安心して医療が受けられるよう総合計画事業として計画どおり実施されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 市民が安心して医療が受けられるよう計画どおり実施したい。

作成年度 平成27年度